

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

音楽療法を学びたかったからです。私自身、辛いときに音楽に助けられたことがたくさんあったので、将来、音楽を使って人の心を癒したいと思い、それを学べる同志社女子大学に決めました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

とにかく学校のテストを優先して勉強して、その上で受験勉強をしていました。受験する大学が決まっていなかったため、勉強していた科目は幅広く、たです。成績を上げるために、英語検定、漢字検定を1学期に取りました。

〔夏休み〕

志望校が同志社女子大学に決まり、受験科目も決まったので、英語と数学の2教科を集中的に勉強しました。それぞれ参考書を買って、目標を決めながら進めていきました。あとは週に1回の過去問を解く日を決め、そこで間違えた問題をしっかりと直し、復習をしてわからないところをなくしていきました。

〔2学期～入試直前〕

学校の行事もあり、忙しい時期でしたが、落ちついて予定を決めて、受験勉強を進めました。英語が数学に比べてまだ不安だったので、基礎の単語を毎日覚えながら、問題集を1問ずつ解いていきました。数学は忘れているところがないかの確認をするために、教IAの範囲を総復習して、自信をつけていきました。直前はほぼ毎日過去問を解いて、本番の練習をしていました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

行事は、大人になってからはできないので、全力で楽しみました。クラブ活動が忙しいときは、空き時間を見つけて予定をこなすから勉強するようになっていきました。季節の変わり目など、特にかぜをひきやすい時期には、とにかく早く寝ることを心がけました。スマートフォンは息抜き程度にみるようにしていました。スランプにならないように、私はあまり考えすぎないようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

毎日勉強をして辛い時期がくるかもしれませんが、頑張れば良かったと合格してすぐ思えたので、後悔しないように頑張ってください!! 小さな目標を決めながら大きな目標に向けて進んでいってください!